

# 新宮津市総合計画骨子案



国の特別名勝 日本三景「天橋立」



市章



市の木 くろまつ



市の花 みつばつつじ

# 1 総合計画について

## 総合計画とは

総合計画は、**宮津市の目指すべき将来像を描く**とともに、その実現に向け、**長期的な展望により総合的かつ計画的なまちづくりのあり方を示す最上位の指針**としての役割を果たすものです。

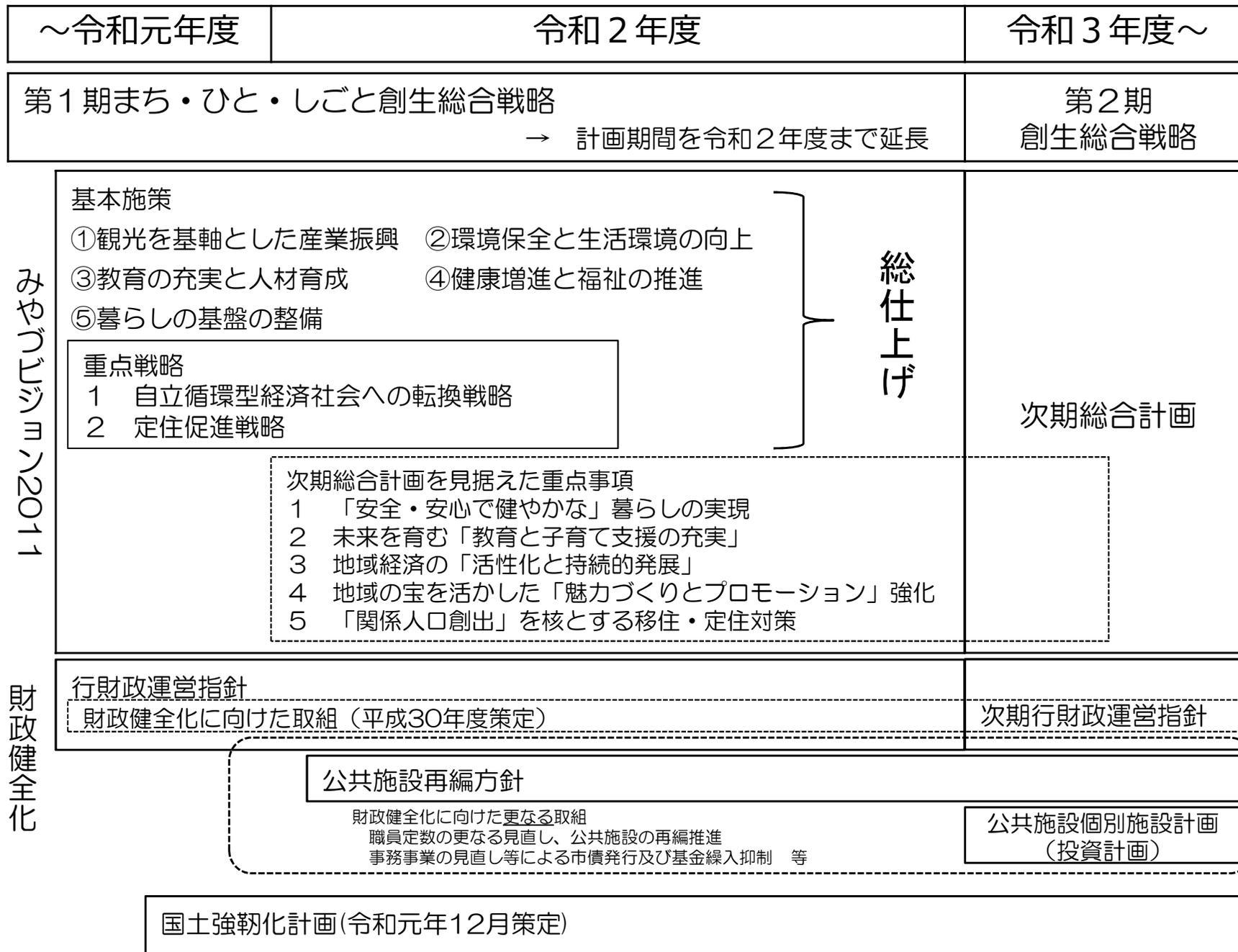
宮津市では、計画期間を10年間として、これまで6つの総合計画を策定してきました。

平成23年の地方自治法の一部改正により、総合計画の法的な策定義務は廃止されましたが、宮津市の将来のあり方を示し、市民の皆さんと一緒に行うまちづくりの基本指針として必要と考えており、令和3年度から令和12年度までの10年間を計画期間とする新しい「宮津市総合計画」を策定することとしています。

## これまでの総合計画

昭和33年度～昭和46年度	宮津市建設計画
昭和47年度～昭和56年度	宮津市振興計画
昭和57年度～平成2年度	第3次宮津市振興計画
平成3年度～平成12年度	第4次宮津市総合計画
平成13年度～平成22年度	第5次宮津市総合計画
<b>平成23年度～令和2年度</b>	<b>みやづビジョン2011 ※現計画</b>

# 総合計画と各計画の関係



明確な目標を掲げ、実現に向けて取り組む

中長期的に安定した行財政運営

## 2 現総合計画について

### 宮津市の基本政策「みやづビジョン2011」

- 宮津市における最上位計画（基本構想）
- H23～H32(R2)の10年間の計画

### 宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略

- H27～R2の6年間について、人口の増加や仕事創出を目指して特に重点的に取り組む政策を定めたものです。
- 宮津ビジョン2011の2つの重点戦略を積極的に推進していくための役割を担うもの(実施計画)として策定し、運用しています。

### みやづビジョン2011の総括

- みやづビジョン2011は基本構想のみのため、実施計画である宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、今秋、成果を総括します。



### 3 新総合計画策定の趣旨

#### 【課題】

- ・ 少子高齢化や人口減少、人手不足
  - ・ 市民所得の低迷
  - ・ 地域経済の低迷
  - ・ 空地空家の増加
- 等様々な社会的、地域的な課題が顕在化

#### 【世の中の流れ】

- ・ Society5.0の推進
- ・ SDGsの推進
- ・ 新型コロナウイルス感染症をきっかけにした社会全体の行動変容及び地域社会・地域経済のあり方の変化



#### 【対応するためには】

行政だけではなく、市民、各種団体、企業など地域を構成するすべての主体が話し合い、知恵を絞り、力を合わせて主体的なまちづくりの取組を進めることが重要

先進的なテクノロジーの活用や専門的な知識・技術を活用した新たなまちづくりの方策を考えることが必要



現総合計画「みやづビジョン2011」が令和2年度に計画期間が終了することから、社会経済情勢の変化など時代の潮流を見据えた本市の将来あるべき姿と進むべき方向の指針となる、新たな総合計画を策定

## 4 新総合計画の位置付けと策定の視点

### 計画の位置付け

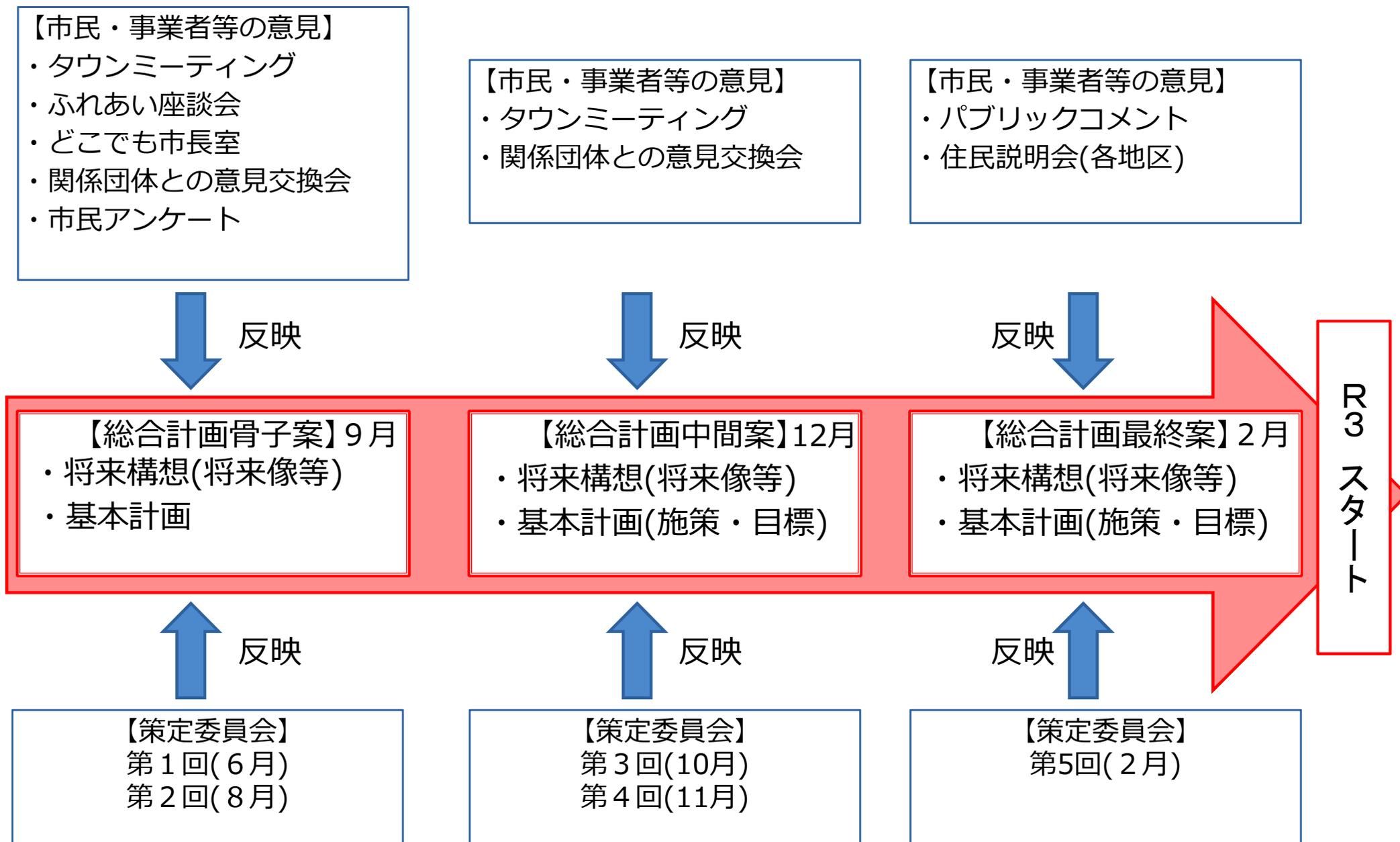
本市の目指すべき将来像を描くとともに、その実現に向け、長期的な展望により総合的かつ計画的なまちづくりのあり方を示す最上位の指針としての役割を果たすものです。

- 行政だけではなく、市民、各種団体、企業など地域を構成するすべての主体が話し合い、力を合わせて将来像の実現を目指す計画
- 具体性があり、体系化された、わかりやすいまちづくりの指針

### 策定の視点

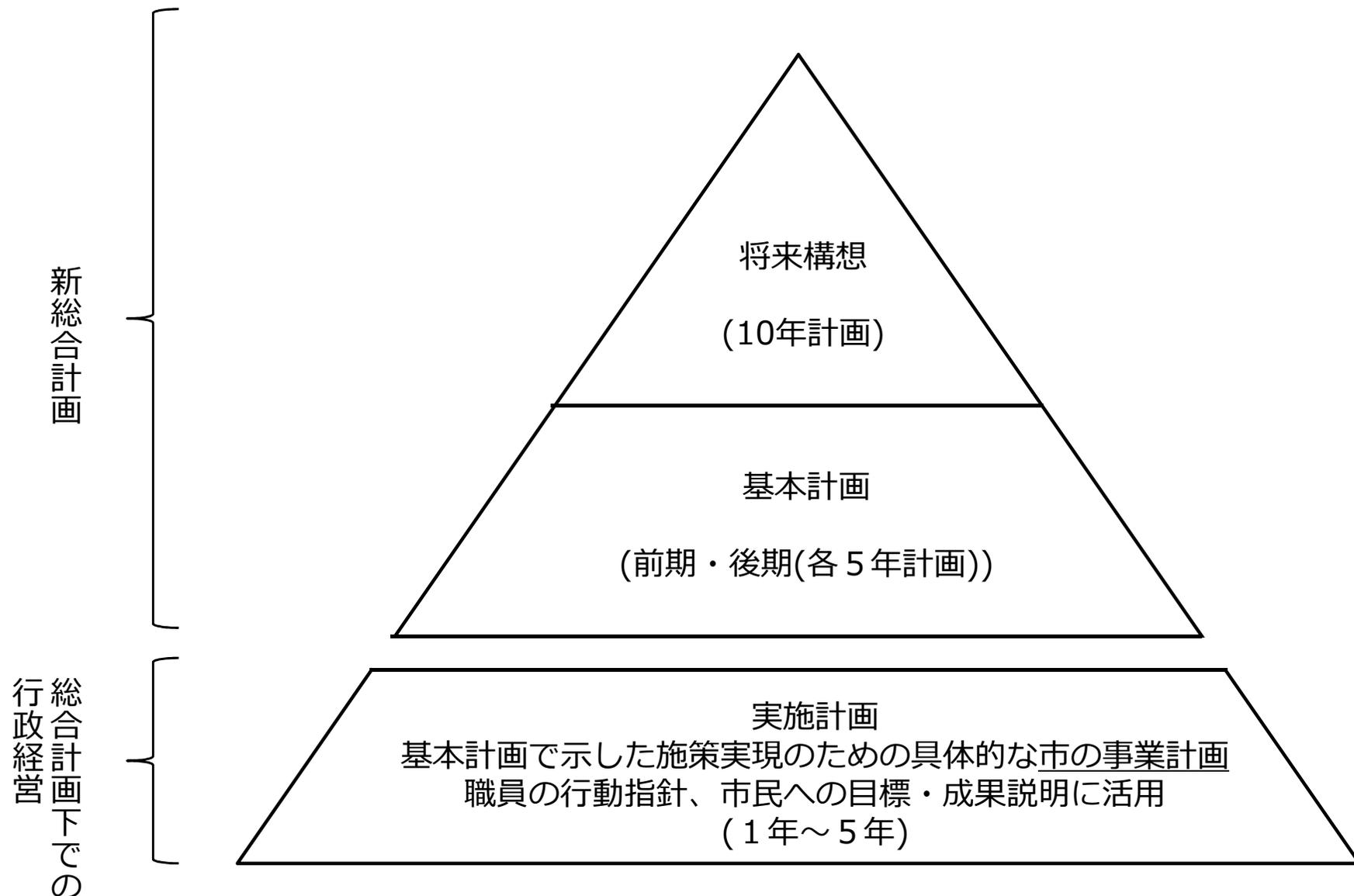
- 市民と市の協働により、役割分担を明確にした計画づくり  
-市民が参加した住民視点の計画づくり-
- 目標が明確で、成果が評価できる計画づくり  
-総合計画が何を目指し、どれだけの事を達成していくかを明確にした計画づくり-
- 現在から20年後までを見据えた持続可能な計画づくり  
-将来に負担をかけない計画づくり-
- 特色ある計画づくり  
-宮津らしさを出すとともに、重点的に実施する施策等を明示した計画づくり-
- 地域を大切にしたい計画づくり  
-各エリアのあり方を考えた計画づくり-

# 5 新総合計画の策定手法



## 6 新総合計画イメージ図

「新宮津市総合計画」は、将来構想と基本計画の2部構成とし、市の事業計画として実施計画を策定します。



## 7 新総合計画の構成と期間

### 将来構想

宮津市が目指す将来像とそれを実現するためのまちづくりの基本的な方向性を示すもので、基本計画、実施計画の基礎となるものです。

【計画期間】 令和3年度～令和12年度(10年間)

#### 【構成】

- 宮津市の目指す将来像 10年後に実現を目指す宮津市の姿を示します。
- 重点プロジェクト 将来像の実現に向けて特に重点的に取り組む2つのプロジェクトを示します。
- エリア連携構想 様々な課題や行政サービスについて、地域の皆さんと一緒に話し合い、課題の解決に向けた連携の在り方・方法等を構築していきます。
- テーマ別戦略 将来像の実現に向けたまちづくりの方向性を示します。
- 将来像の実現に向けた5つの視点 将来像の実現に向けて取り組む方策等を検討、実施する上で重要な視点を示します。

## 7 新総合計画の構成と期間

### 基本計画

将来構想に掲げる将来像の実現に向けて、まちづくりを総合的・計画的に推進するため必要となる施策を分野ごとに示すもので、社会経済情勢の変化や基本計画の実施状況を踏まえ、前期、後期に分けて策定します。

【計画期間】 前期 令和3年度～令和7年度(5年間)  
後期 令和8年度～令和12年度(5年間)

#### 【構成】

- 重点プロジェクト** 将来像の実現に向けて、将来構想に定めた各重点プロジェクト毎に「現状と課題」「5年間の対応方向」「具体の方策」「達成すべき目標」を示します。
- テーマ別戦略** 将来像の実現に向けて、将来構想に定めたテーマ別戦略の各分野毎に「現状と課題」「5年間の対応方向」「具体の方策」「達成すべき目標」を示します。

# 8 将来構想

## 【宮津市の目指す将来像】

### 「共に創る みんなが活躍するまち みやづ」

一人ひとりが主人公として活躍するまちを、宮津市に関わる人達(みんな)と一緒に創り上げます。

## 【重点プロジェクト】

## 【エリア連携構想】

### 若者が住みたいまちづくりプロジェクト

若者人口が減少し少子化が進む中、若者が宮津に住みたい、住み続けたいと思えるよう、郷土愛の醸成や子育て世代のサポート等を行い、地域ぐるみで多様なライフスタイルの実現できる暮らしやすいまちづくりを進めます。

### 宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト

宮津市の地域経済を支えていく地域の宝(人やもの)を育むため、地域で活躍する「人」を育成するとともに、地域の宝を使ったビジネスにチャレンジする市内の企業・地域・団体等の応援や市外企業の誘致を進めます。



人口減少・高齢化が急激に進む地域を維持・発展していくためには、地域コミュニティの維持や交通、医療等の様々な課題や行政サービスについて地域を越えた連携を図る必要があります。

そのため、「エリア連携構想」では、令和3年度以降、様々な課題に対して、地域の皆さんと一緒に話し合い、課題の解決に向けた連携の在り方・方法等を構築していきます。

## 【テーマ別戦略】

### 地域経済力が高まるまちづくり

自然や歴史文化などの豊かな地域資源を活かし、一次・二次・三次のあらゆる産業が連携しながら地域に活力を生むことで、所得が向上し働きやすく暮らしやすい、地域経済力が高まるまちづくりを進めます。

【分野】

- ・観光振興
- ・商工業振興
- ・農林水産業振興
- ・海の活用
- ・都市景観、景観まちづくり
- ・社会基盤施設活用

### 住みたい、住み続けたいまちづくり

これからの時代に合った住みやすく多様なライフスタイルに合った地域コミュニティづくりや、子育て支援、定住促進策等により、市内外の人々が「住みたい」「住み続けたい」と思えるまちづくりを進めます。

【分野】

- ・子育て支援
- ・定住促進
- ・関係人口
- ・空家対策
- ・男女共同参画
- ・情報発信
- ・地域コミュニティ、市民協働

### 安全・安心に生活できるまちづくり

地域強化による安全な社会基盤の整備や豊かな自然環境、生活環境の維持、地域住民の自助、共助と公助の連携・協働等により安心が実感でき、安全で快適に暮らせるまちづくりを進めます。

【分野】

- ・社会基盤、防災減災対策
- ・防犯、交通安全
- ・環境
- ・公共交通

### 健康で生き生きと幸せに暮らせるまちづくり

市民一人ひとりが健康に安心して生活することができるよう、ささえあい健康で安心して生き生きと幸せに暮らせるまちづくりを進めます。

【分野】

- ・地域福祉
- ・障害福祉
- ・高齢者福祉
- ・健康、医療
- ・福祉医療人材育成

### ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり

明日の宮津を担い、創る人づくりに向けて、宮津ならではの教育や生涯学習等により、子どもから大人まで学びを深め、ふるさと宮津に誇りや愛情を持てるまちづくりを進めます。

【分野】

- ・社会教育
- ・学校教育
- ・スポーツ振興、文化振興
- ・文化財保存、活用
- ・人権教育、啓発
- ・人財づくり

## 【将来像の実現に向けた5つの視点】

### 市民協働

行政主導ではなく、行政と市民、各種団体、企業などが一緒になって考え、行動し、事業に取り組みます。

### Society5.0

あらゆる分野においてIoTやAI等の新たな先端技術の導入を積極的に進めます。

### SDGs

「持続可能な開発目標(SDGs)」の理念を積極的に取り入れることで、持続可能な社会を目指します。

### ポストコロナ

新型コロナウイルス感染症拡大後(ポストコロナ)に想定される生活様式等の大きな社会の変革に対応します。

### 健全な行政運営

中長期的に安定した行財政運営に向け、経営視点に立った効率的な行政経営を進めます。